災害にそなえよう

* 宮崎県の被害想定 南海トラフ大地震 震度6強

死者	10名	負傷者	230名	建物全壊	280棟
建物半壊	2300棟	火災件数	10件	焼失	270棟

* 小林市の被害想定 小林・えびの大地震 震度6強 M6, 5

死者	23名	負傷者	59名	建物全壊	863棟
建物半壊	132棟	火災件数	9件	焼失	505棟

* 地震の備え

【自助】

家具の転倒防止や避難路の確認非常持ち出し品の準備

- ① ヘルメット（防災頭巾） 懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池
- ② 救急医薬品（消毒液・絆創膏・常備薬）
- ③ 生活用品（軍手・ナイフ・ライター・簡易トイレ）

地震が起きたら

- ① 火元の確認と出火したら初期消火
- ② ガスの元栓を閉め電気のブレーカーを切る
- ③ 家族の安否確認
- ④ 非常持ち出し品の確保

【共助】

日頃の挨拶や、お祭り、イベントなどといった集まりに参加するなど
地域の人と交流する機会をもちコミュニケーションをたもつ。

地震が起きたら

- ① 隣近所の安否状況を確認しあう
- ② 火災などが発生したら力を合わせて初期消火をする
- ③ 高齢な方など非難が困難な人の介助・手助けをする

【一口メモ】

- ① マグニチュードが1上がるとエネルギーは30倍になる
- ② 地震の伝わる速さはP波（縦揺れ）秒速7km S波（横揺れ）
秒速4km
- ③ 津波の速さは、水深2000mで時速500km、水深4000m以上では時速700km
* 海辺で地震を感じたら直ぐに高台へ避難しよう

【火山噴火】

- ① 火山灰 直径2mmより小さい
- ② 火山レキ 直径2mm～64mm
* 小林は新燃岳噴火のときこれで、太陽光発電など大きな被害を受けました
- ③ 火山岩塊 直径64mmより大きい
- ④ 噴石 おおむね拳大以上で人に当たると危険
* 直径50cmをこえる噴石は4km四方にまで飛ぶまた、直径10センチ程度の噴石は風に運ばれ10kmまで飛ぶことがある
- ⑤ 火砕流 溶岩片等の超高温の紛体が斜面を流れ下る現象
- ⑥ 火災サージ 火砕流や先端や周囲に発生する比較的溶岩片の少ない

熱風状のもの（温度や流速は火砕流と同じ）

*わが町で誇る霧島連峰は、日本で他に類を見ない活火山がいくつも連なる連山で、いまこの連峰の活動が活発化しその被害が心配されています。